

# 更級への旅

56

歌舞伎で演じられる姫に「更科姫」がいることをシリーズ二十七回で紹介しましたが、その後、この姫に関する文献や逸話がいくつもあることが分かりました。

## ▽絵本草紙で人気

内容で多くに共通しているのは戦国時代、信濃の東北信に勢力を広げていた武将、村上義清の家臣の娘という設定です。

この娘は美麗で男勝りの力と気概を持っています。別の家臣と結婚するのですが、信濃に勢力を拡大しようとしていた甲斐（今山梨県）の武将、武田信玄の家臣が更科姫を襲つたため、切りました。

このため更科姫の夫はいわば人質として武田勢に預けられます。更科姫も後を追う過程で子どもを産み、夫のために武勇を発揮します。

この物語は全国的に広まつたようです。その人気の始まりは「絵本更科草紙」ではないかと考えられます。物語は江戸時代の一八一〇年代に栗杖亭鬼卵が作つたものです。当時は今のよう洋本はまだありません。版木に墨を載せて和紙に写し取りそのまま活字で組んで和本で流通したのです。

# 勇婦として人気のあった更科姫

物語の特徴は、更科姫を、主君尼子氏のお家再興に生涯を捧げた忠臣として人気のある山中鹿之介（幸盛）の母親と設定している点です。戦国時代、尼子氏の拠点だったところは、安来節で知られる現在の島根県安来市です。「山中鹿之介の母が更科姫」というのは歴史的には事実ではありませんが、夫と主君にそれぞれ忠誠を誓つた猛者としてこの二人を結びつけた猛者が、物語を全國人気にさせた大きな理由だと思われます。

そして、これが土台になつて、歌



和本で流通した「絵本更科草紙」を、原本のまま活字に組んで大正時代にもう一度出版した「絵入文庫」から。更科姫の挿絵の部分。

## 本当に歌舞伎に童話に映画、講談も



坂城町教育委員会が合併五十周年の場所を案内していただきました。更科姫は家臣たちを助けるため富士川から甲斐に戻り、上ノ山地区まで来て、居を構えました。そして天満宮を祀り、夫や息子、家臣の回向をしながら生涯を閉じました。

近くにお住まいの長坂邦宏さんに右の写真です。左の円柱状の墓石が地元で更科姫の墓として伝わるもので、長坂さんが手を添えている碑に、更科姫にまつわる逸話が彫られています。

坂城町教育委員会が合併五十周年

▽山梨県韮崎市には墓があります。同市上ノ山地区には更科姫が住んだ場所とされるところが伝わっています。その伝えによると、更科姫は信玄の後継者の武田勝頼の命令で、夫とともに高天神城（現在の静岡県掛川市）を落としましたが、家康の

シリーイズ四十九回で少し紹介しました。その解説文によると、作家の小泉長三さんという方がつくりました。お話をなかでは、やさしくて力持ちの更科姫が登場します。解説文は「戦国時代とは時代も社会もすつかり変わっていますが、女の子のみならず、男の子に求められるのは、やさしい心と悪にくみしない正義感です」として紹介しています。

このほか、戦前には「女傑更科」「妻恋信州城」といったタイトルの映画でも更科姫が登場しています。これらの中でも「勇婦」として物語をドラマチックにする人物として欠かせない役割を担つていました。

▽歴史の積み重ねの上に

村上一族の始祖は平安時代、白河上皇を呪詛したとして都から遠くに流された源氏の一派で、その一人が現在の坂城町村上地区に居を構えたとされます。

村上郷はその源氏が流される前から平安時代の文書にも登場する郷の名前です。そしてその郷は更級郡のなかにあるとされています。また、村上氏といえば、南北朝時代、現在の奈良県吉野町に南朝の拠点を設けていた後醍醐天皇の三番目の息子「護良親王」を、北朝軍の襲撃から落ち延びさせようと自決した村上義光のことなどが広く知られています。今も吉野山には大きな碑が建ち、また、全国的に忠臣として祭りなどのモチーフになった武将です。

そうした歴史上の事実や逸話などが積み重ねられた上に、「絵本更科草紙」が出来上がったのではないかと思われます。

ただ、村上義清の時代には、村上氏の拠点は千曲川の対岸にある埴科郡に移っていました。これは人や物資の往来が盛んな北国街道があつたせいでしょう。このため、義清の菩提寺（満泉寺）も、拠点の城（葛尾城）も埴科郡です。

「絵本更科草紙」ではしかし、埴科姫ではなく更科姫とした理由は、もともと村上一族は旧更級郡に拠点を構え、また、江戸や関西では、「さらしな」という言葉の方がそばや月の里としてよく知られているので、「更科姫」としたのではないでしょう。

ただ、村上義清の時代には、村上氏の拠点は千曲川の対岸にある埴科郡に移っていました。これは人や物資の往来が盛んな北国街道があつたせいでしょう。このため、義清の菩提寺（満泉寺）も、拠点の城（葛尾城）も埴科郡です。

発行 二〇〇七年五月三日  
編集 さらしな堂  
(代表・大谷善邦)

〒三八九一〇八一三  
長野県千曲市大字若宮二八四一六  
(旧更級郡更級村)